

鶴見緑地公園へお散歩に行ってきました！ ～飛鳥ともしび苑 グループホーム～

5月20日、職員手作りのお弁当を持って鶴見緑地公園へ行ってきました。
お弁当を食べて、緑地をお散歩♪季節を感じて楽しい時間を過ごしました(^_^)



絶好のお散歩日和です！☀️



昼食タイム♪

お弁当を広げていただきます！



職員渾身の手作りコロッケ(左)
手作りハンバーグ(右)
皆さん美味しく召し上がられました☆



お味はいかがですか(*^^*)



卵焼きの隠し味はマヨネーズ！
マイルドであと引く美味しさ♡



木陰で休憩(^-^)
風が心地よく、自然と笑顔に☆



公園には見ごろのバラが綺麗に咲いていました(^-^)

職員インタビューコーナー

管理栄養士を目指したきっかけ

私が小学生の頃、糖尿病で入院していた祖父が「ごはんが美味しくない」と話したことがきっかけで、食事について興味を持ちました。高校は、食品の知識を習得しながら栽培や加工についても学べる農業高校へ進学し、授業の中で大根を栽培してたくあんにしたり、胡瓜を栽培して奈良漬に加工し、販売もしていました。実習の多さが魅力で農業高校を選んだこともあり、自分たちで栽培から販売に至るまでの一連の流れを経験する機会を多く持ったことで、食品に関する知識と技術を習得できたことは今も活きていますし、貴重な経験だったと思っています。農業高校卒業後は大学に進学し、卒業の年の3月に国家試験を受けて管理栄養士免許を取得しました。社会人になって、異なる職種も経験し、管理栄養士の仕事から離れた時期もありましたがやっぱりまた戻りたくて2月に福島ともしび苑に入職し、日々励んでいるところです！

実際に管理栄養士として働いて

以前勤務していたユニット型の特別養護老人ホームでは、栄養ケアよりも調理や食材の発注業務が中心で、厨房で黙々とやる仕事や、数を管理することも性に合っていて楽しく働いていたところに法人の方針転換があり「厨房から離れて栄養ケアに注力するように」との指示が出て、やりがいを感じていた厨房での業務は今後できなくなることになり落ち込んでしまい、退職を決意しました。その後、転職して事務職員をしていましたが、管理栄養士の仕事への想いは残っており、再度特別養護老人ホームで働く意思を固め、福島ともしび苑の応募へ繋がりました。

やりがいを感じる時

「美味しかったよ」の声をいただくと、素直に嬉しいですね。反対に口に合わなかった時も率直に言うくださる方がありがたいです。また、利用者さんの顔を見ながらたこ焼きやピザトーストを作って提供する時間は楽しく、調理好きの私にとってなくてはならない時間です！

大切にしていること

特別養護老人ホームだからこそ、利用者さんが美味しいと感じるものを制限なく召し上がっていただきたいという個人的な想いはありますが、実際はとても難しいことです。食事に興味を持ったきっかけが祖父の「ごはんが美味しくない」という言葉だったので、自分の工夫で、少しでも利用者さんが美味しいと感じてくださったり、食べたかったものに近づけられるよう、初心を忘れず努めたいと思っています。



福島ともしび苑 管理栄養士
松井 亜子さん

休日の過ごし方、ストレス対処

インドア派なので、約束がなければ休日は家で過ごします。動画や映画を観て、好きなタイミングで食事をし、自分の時間を楽しんでいます！
ストレス対処は、友人と飲みに行くことと寝ることなので、休日は自然に目が覚めるまでしっかり寝て、身も心もリフレッシュしています。

未来の自分

福島ともしび苑は、色々な職種の方から意見や情報をきちんともらえますのでとてもありがたいですし、管理栄養士としての意見も反映されやすい職場なので、やりがいにつながっています。
この先も福島ともしび苑で長く働きたいと思っていますので、未来の自分の能力向上に向けてもっと利用者さんや職員とコミュニケーションを取り、日々コツコツと経験を積み上げていきたいです。
数年後は今よりも力を付けて、更に意欲的に仕事をしたいと思っています！